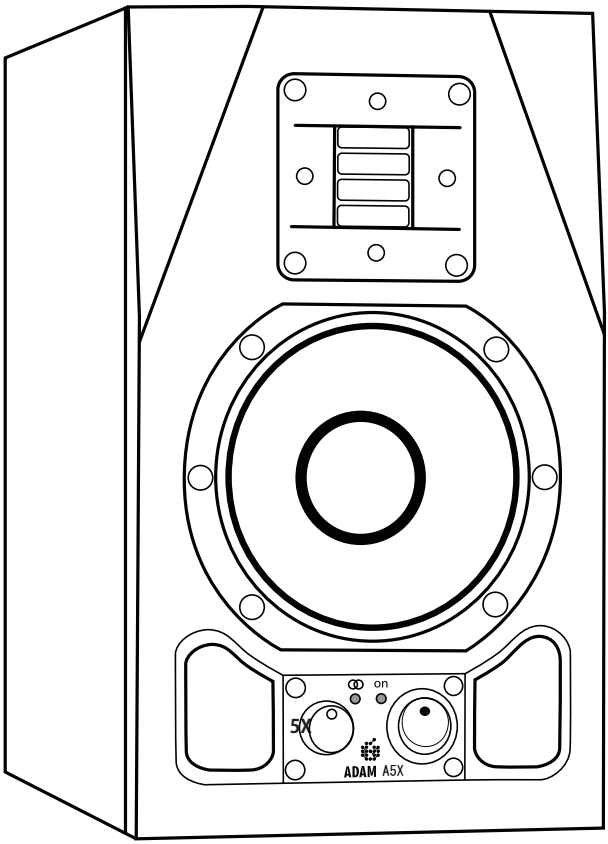
ADAM
PROFESSIONAL AUDIO

A5X Nearfield Monitor

取扱説明書



はじめに

この度はADAM Audio A5Xマルチメディアモニターをお選びいただき、**誠にありがとうございます。**

ADAM Audioのスピーカーは卓越した再生能力と音質を誇ります。A5Xから得られる非常に正確で高解像な音像によって、**レコーディング現場での正確なモニタリングが可能となります。このモニタースピーカーは音質的にも技術的にもご使用になるユーザー様に最高の品質を提供いたします。**

このマニュアルにはADAM A5Xについての様々な情報が記載されています。安全性、セットアップ、ご使用方法、保証内容についての重要な情報が含まれていますので、各事項を注意深くお読みくださるようお願いいたします。

コンパクトなニアフィールド／マルチメディアモニターのA5Xは、ステレオ及びマルチチャンネル音声のモニタリングが必要な業務用途に幅広く対応します。使用例としては、小型のコントロールルーム、デスクトップ、モバイル施設、ポストプロダクション用編集室等、さらには、あなたのお気に入りのmp3プレーヤー、ゲーム機等と組み合わせてご使用いただけます。このモニタースピーカーは、妥協のない音の再生が求められる全ての場面において活躍してくれるでしょう。

A5Xは2ウェイバスレフ型アクティブスピーカーです。ADAMの誇るXARTフォールデッドリボン型ツイーターを搭載していますので、高音域が従来より**格段に広い最新のメディアフォーマット用モニターとしても最適です。クロスオーバーポイントは、2.5kHzに設定され、中低域には従来の伝統的なドライバーを使用しています。**ツイーター部、ウーハー部には共に独立した25W(RMS)のアンプが設備されています。

この製品または他のADAMの製品に関しまして、**ご質問等がございましたら、お**気軽にご連絡下さい。ご質問に答えられるよう最善の努力を尽くします。

ADAMの技術、製品、レビュー、ユーザーリスト等に関する詳細な情報をご覧になられたい方は、我々のウェブサイトをご覧下さい：

www.adam-audio.com（メーカーウェブサイト）
www.adam-audio.jp/ （日本国内ウェブサイト）

あなたがA5Xを十分楽しんでいただき、ご満足いただけるよう願っております。

The ADAM Audio Team

目次

1. 正面及び背面 4

2. クイックスタート 5
2.1 重要なお知らせ 5
2.2 クイックスタート A5X 5

3. スピーカーの接続方法 6
3.1 基本的な接続 6
3.2 ステレオリンク 6

4. スピーカーの設置 7-9
4.1 縦置き設置 7
4.2 横置き設置 7
4.3 ツィーターを耳の高さに 8
4.4 ステレオ・トライアングル 8
4.5 サラウンドの設定 9
4.6 スタンド/壁面取付 9

5. スピーカーの調整 10-11
5.1 コントロールパネル 10
5.2 ツイーターレベル 10
5.3 ルーム EQ 11

6. メンテナンス 12

7. 運送 / 梱包 12

8. 環境情報 12

9. EU Declaration of Conformity 13

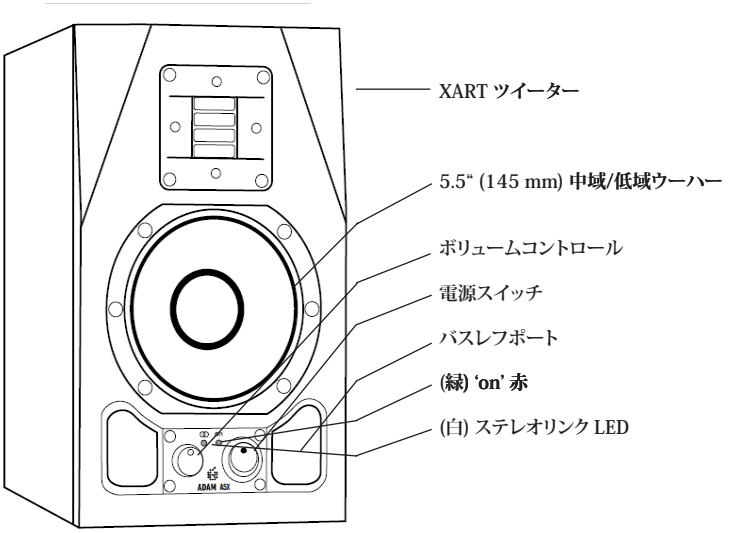
10. 保証 14
10.1 保証内容 14
10.2 保証の請求方法 14

11. 安全にご使用いただくために 15

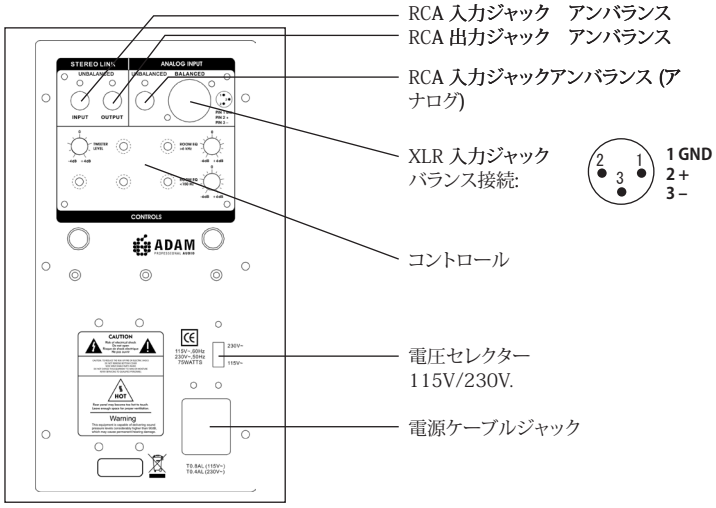
12. テクニカルデーター 16

正面及び背面

1.1 A5X - 正面



1.2 A5X - 背面



2. クイックスタート

2.1 スタートアップに関する重要な情報

スピーカーは開梱した後、一時間ほど部屋の温度に順応させて下さい。

スピーカーを硬い面の上にしっかりと設置して下さい。

輸送の必要が生じた時のために、オリジナルの梱包材を保存することをお勧めいたします（p.12の6.をご参照下さい）。

スピーカーが最高の音質パフォーマンスを提供するにはエージングが必要なため、一定の期間が必要となりますことをご了承下さい。

2.2 クイックスタート

a) スピーカーをオーディオコンポーネントあるいは音源と接続する前に、スピーカーとオーディオシステムの電源がオフになっていることをご確認下さい。また、各レベルコントロールが最小値に設定されていることをご確認下さい。

b) 2種類の接続方法があります。
アクティブスピーカーとしての通常接続方法。サウンドソースまたはミキシングコンソールをスピーカーに接続して下さい。この際ご使用いただけるのは、RCA（アンバランス型）コネクターかXLR（バランス型）コネクターになります。コネクターの配線は、スピーカーのリアパネルに記載されています（詳しい情報については3.1の項目をご覧下さい）。
ステレオリンクモード。ステレオリンクモード（両チャンネルのボリュームを片チャンネルで操作できるモード）をご使用になりたい場合は、3.2の項目をご覧下さい。

c) 同梱のパワーケーブルを使ってスピーカーをコンセントに接続して下さい。

d) スピーカーのフロントパネルにあるオン／オフスイッチをオンにして下さい。

e) システムのラインアウトレベル（ボリューム）が低い値、あるいは最小値に設定されていることを確認してから、オーディオシステムの電源を入れて下さい。

f) 音源を再生し、注意しながらボリュームを調整して下さい。

3. スピーカー接続方法

3.1 基本的なスピーカー接続方法

通常のスピーカー接続の場合、モノラルのXLRまたはRCAケーブルをご使用下さい。XLR接続はプロフェッショナルな用途で使用されるのが一般的で、RCA接続はHi-fi用途として多く使用されます。

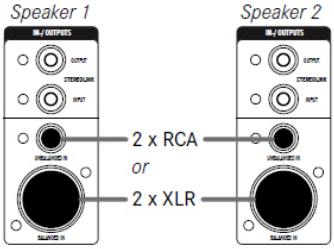


fig. 1: Common connection

3.2 ステレオリンク

一つのマスターコントロールで両スピーカーのボリュームをコントロールできるユニークなステレオリンクモードをご使用されたい場合は、同梱されているRCAケーブルをお使い下さい。このモードでは音源から独立して簡単にボリュームコントロールを行えるので、操作という点において非常に優れていると言えます。どのA5Xでも、マスターユニットまたはスレーブユニットとしてお使いいただけます。

a) 2つのスピーカーで同じ音量を得るには、

b) スピーカー2のボリュームノブが真中のポジションに来るようにして下さい。

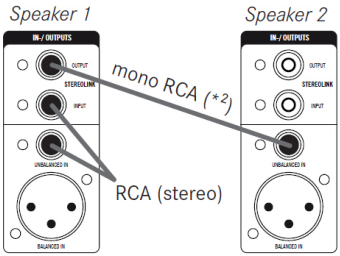


fig. 2: Stereo Link

最初に、マスターコントロールとなるスピーカーをステレオRCAケーブルを使ってプリアンプ、音源等に接続して下さい。

次に、マスターのスピーカーをスレーブ側のスピーカーに接続します。この際には、同梱されているモノラルのRCAケーブルとStereo Link Inputs/Outputsをご使用下さい。

モノラルRCAケーブルがStereo Link Outputsに接続されると、マスターとして機能しているスピーカーの前面に設置されているLEDライトが緑色に点灯します。

緑色LED

4. スピーカー設置方法

スピーカーとあなたの耳の間に障害物がないようにして下さい。この状態で、あなたはスピーカーの全体を全て見ることが出来るはずです。

4.1 縦置き

A5Xは縦置きに設置されることを念頭にデザインされています。スピーカーが硬い設置面あるいはスピーカースタンドの上に設置されるようにして下さい。
近くに振動しやすい物体があると音がぼやけてしまう場合がありますのでご注意下さい。

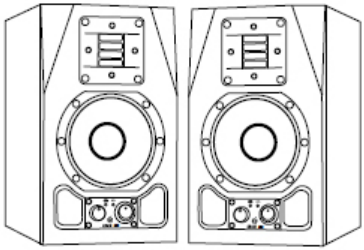


fig 3: 縦置き設置

4.2 横置き

スピーカーを横置きにして使用する場合、下図のように左右対称に設置するようにして下さい。これは**正確な音像を得るために必要不可欠です。**

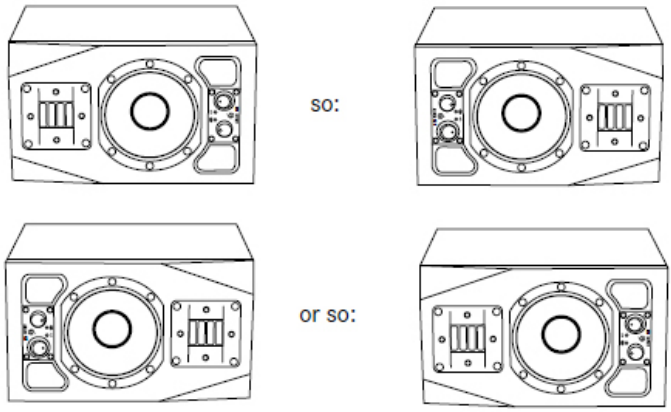


fig 4: 横置き/左右対称配置

4.3 ツイーターを耳の位置に合わせる

ツイーターがあなたの耳の位置に合うように設置して下さい。スピーカーを高い位置あるいは低い位置に設置せざるを得ない場合には、スピーカーに角度をつけることによって調整して下さい。

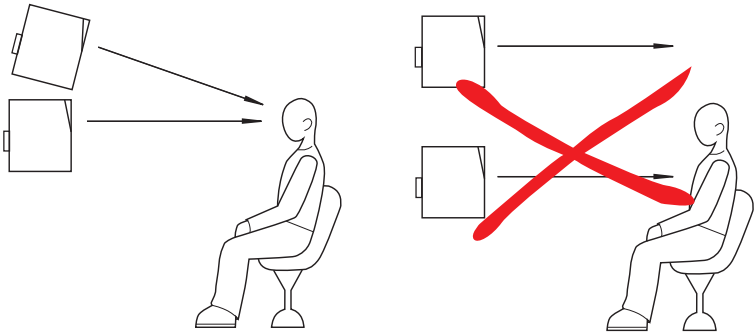


fig 5: ツイーターを耳の位置に合わせる/スピーカーの角度調整

4.4 ステレオトライアングル

スピーカーがステレオで使用される場合、最適なリスニングポジションはスピーカーとリスナーの位置関係を正三角形で表した場合の頂点となります。この際、2機のスピーカーの位置は正三角形のもう2つの頂点になります（図6をご参照下さい）。
また、スピーカー正面の向きをリスナーの位置に向けて下さい。

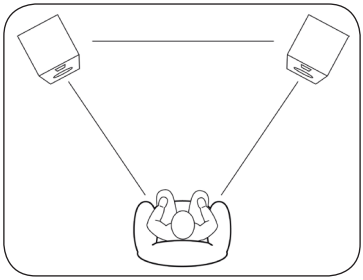


fig. 6: ステレオトライアングル

- スピーカーの位置とリスニングポジションがおおよその正三角形を形作るようにして下さい。この際スピーカー同士の距離、両スピーカーからリスナーまでの距離が全て同一になります。
- スピーカー正面をリスナーに向けて下さい

4.5 サラウンドセッティング

マルチチャンネルオーディオにおける理想的なスピーカーのセッティングは、リスナーを中心に置いた円形上の0°（センター）、30°（右フロント）、110°（右リア）、250°（左リア）、330°（右フロント）にそれぞれのスピーカーが配置されたセッティングです。なお、リスナーを中心とした円形の理想的な半径は0.7mから2.0mです。このセッティングは国際電気通信連合（ITU）によって推奨されていますが、コントロールルームの目的（音楽か映画か）によっては違うセッティングが最適な場合もあります。どのような場合においても共通するのは、スピーカーの位置が左右対称で、各スピーカーがリスナーの耳に向いているよう配置されているセッティングが理想的だと言えることです。
スピーカーと壁との距離は最低でも40cmになるようにして下さい。これは、壁からの反射音によって音質が損なわれることを防ぎます。

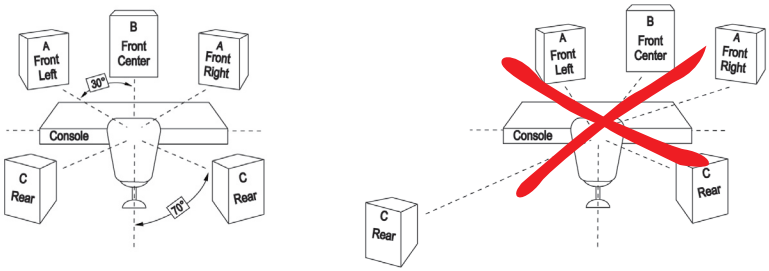


fig 7: サラウンド配置

4.6 スタンド/壁面取付

スピーカーの背面に、スタンド／壁面マウンティング用のM8（8mm）のネジ穴が設備されています。その他のマウンティング用器具（オムニマウント等）もお求め可能です。

5. スピーカーの調整

5.1 コントロールパネル

様々なルームアコースティックや個々の嗜好に応じて音質を詳細に調整できる調整ツマミがリアパネルに設備されています。5.2、5.3の内容を参考にしながら必要に応じてスピーカーの音質を調整して下さい。

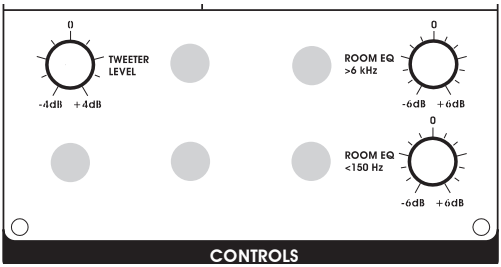


fig. 8:
入力 / コントロール

ルーム EQ < 150 Hz
ルーム EQ > 6 kHz
ツイーターレベル

調整ツマミを使用すると、スピーカーの音質**および特性全体に大きな影響を与え**る場合がありますのでご注意下さい。細心の注意を払い、聞き慣れた音源による数回のテストを経た上でのご使用をお勧めいたします。

5.2 ツイーターレベル

ツイーター用アンプの電圧ゲイン（つまりツイーター全体の音量）は、±4dBの間で調整することができます。部屋の音響特性が著しくデッドな場合、あるいは特殊な音質を目的とする場合にこのツマミを使って調整して下さい。

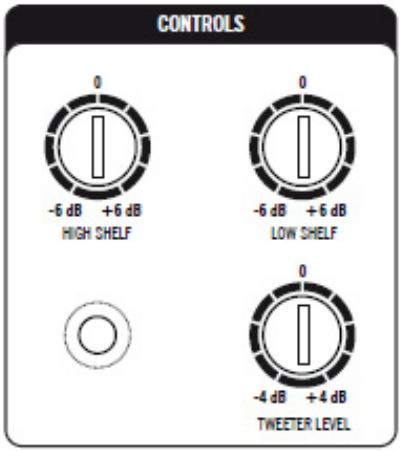


fig. 8: Controls

5.3 ルームEQ

ツイーターレベルがツイーター全体の音量を上げ下げするのに対して、ルームEQでは高域（6kHz以上）と低域（150Hz以下）にそれぞれシェルビングフィルター的な調整を施すことができます。示されているdB値は30Hzと15kHz　での値となります。下図で５つのカーブ例が紹介されていますが、調整は連続可変的に行うことが可能です（図10をご参照下さい）。

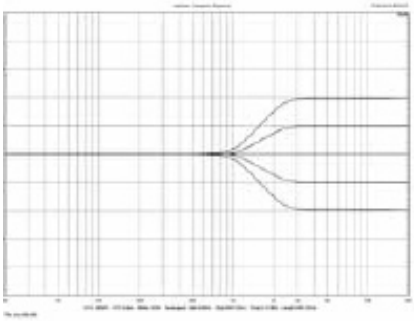


fig.9: Tweeter Level

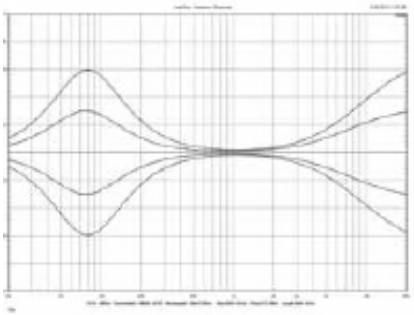


fig. 10: Room EQs

fig. 10:
ルーム EQ >6 kHz
高域の調整：6 KHz以上

ルーム EQ <150 Hz
低域の調整：150 Hz以下

6. メンテナンス

・クリーニングを行う場合、スピーカーの電源を必ずオフにして下さい。

・ダイアフラムの周りには磁場が発生しますので、近くに磁気を帯びたものを置かないで下さい。

・キャビネットの中に液体が入らないようご注意下さい。スピーカーに飲物をこぼさないで下さい。クリーニングに濡れた布を使用しないで下さい。

・クリーニングに引火性または酸性の薬品を使用しないで下さい。

・スピーカーの振動板には手を触れないで下さい。

・クリーニングは綿くずのでない湿った布で行っていただくようお勧めいたします。振動板は柔らかいブラシ等でほこりを落として下さい。

7. 輸送／梱包

スピーカーを輸送する必要が生じた場合には、必ずオリジナルのパッケージを使用して梱包して下さい。我々の経験上、オリジナルでないものを用いて梱包した場合、スピーカーに破損が生じる場合があります。ADAM Audioは、オリジナルの梱包材以外の梱包によって発生した破損については一切責任を負いかねます。

輸送の必要がありオリジナルの梱包材をすでに破棄してしまった場合には、ADAM Audioより新しいパッケージを購入することが可能です。

8. 環境情報

全てのADAM Audio製品は以下の指令を満たしています。
・Restriction of Hazardous Substances (RoHS)
・Waste Electrical / Electronic Equipment (WEEE)

製品を処分する場合には、各地域の処分方法に従って下さい。

9. EU Declaration of Conformity

We,

ADAM Audio GmbH

whose registered office is situated at

Lobeckstr. 36, 10969 Berlin, Germany

declare under our sole responsibility that the product:

A5X

complies with the EU Electro-Magnetic Compatibility (EMC) Directive 89/336/EEC, in pursuance of which the following standards have been applied:

EN 61000-6-1 : 2001
EN 61000-6-3 : 2001
EN 55020 : 2002
EN 55013 : 2001

and complies with the EU General Product Safety 2001/95/EC, in pursuance of which the following standard has been applied:

EN 60065 : 2002.

This declaration attests that the manufacturing process quality control and product documentation accord with the need to assure continued compliance.

The attention of the user is drawn to any spezial measures regarding the use of this equipment that may be detailed in the owner's manual.

Signed:

Roland Stenz
Director
ADAM Audio

10. 保証

ADAM Audio GmbHはこの製品に対して2年間の期限付き保証書を発行しています。製造過程における不備によって生じた故障等は、無償にて修理、部品交換をさせていただきます（例外の場合もあります）。

10.1 保証内容

この保証は、全ての国／地域によるディーラー／ディストリビューターに関する法律を補完し、購買者としての法律的権利に影響を与えることはありません。
この保証の対象は製品の修理のみに限定されています。
輸送やその他の費用、または撤去、輸送、取付けにおいて生じる危険性に対する保証は、この保証には一切含まれていません。
シリアルナンバーの改変された製品、破損された製品、除去された製品、そして読み取れない製品に関しましては、保証の対象外となります。

この保証は購入時における製品の不備以外には適用されません。また、下記の場合にも適用されません。

a) 適切でない取付け、接続、梱包によって生じた破損。

b) このユーザーズマニュアルに記載されていない使用方法によって生じた破損。

c) 適切でない、または誤った製品との使用によって生じた破損。

d) ご自身、または第三者による修理、改造の痕跡が見受けられる場合。

e) 事故、落雷、水害、火災、暴動、またはその他ADAM Audioの関与するところのない原因によって生じた破損。

10.2 保証の請求方法

保証を適用させた修理が必要な場合は下記内容に従って下さい。

製品を購入された国で製品をご使用されている場合、あなたがADAM Audioを購入した正規販売店にご連絡下さい。

製品を購入された国以外の地域で製品をご使用されている場合は、あなたが居住する国のADAM Audio正規ディストリビューターへご連絡下さい。

保証を有効にするためには、購入日の記載された保証書が必要となります。

11. 安全にご使用いただくために

製品をセットアップする前に安全な使用に関する下記の注意事項を必ずお読み下さい。また、必要が生じた場合のためにこの注意事項の内容を必ず保管して下さい。下記の注意事項に従い、製品の安全なご使用をお願いいたします。

警告：感電を防ぐため、スピーカーの中身を開けて分解することはおやめ下さい。ご自身で修理していただける部品は使われておりません。修理は適切な専門家へとご相談下さい。

この製品の使用には、感電を防ぐため同梱されている電源ケーブルと同じタイプのアース付き3ピン電源ケーブルをご使用下さい。延長コード等を使用される場合も同じです。

指定されている値、規格以外のヒューズはご使用にならないで下さい。ヒューズのバイパスは絶対におやめ下さい。

ケーブルの接続、取り外し、またはスピーカーのクリーニングを行う際には、全システムの電源を必ずお切り下さい。

ダイアフラムは磁場を発生させます。ダイアフラムの近くに磁気を帯びたものを置かないで下さい。

スピーカーを水の近くでご使用になるのはおやめ下さい。雨、または極度に湿気の多い場所でのご使用はおやめ下さい。製品内部を液体で濡らすことは絶対におやめ下さい。また、製品に液体等をこぼさないようご注意下さい。花瓶等、水の入った容器をスピーカーの上に置かないで下さい。

必ず正常に機能しているケーブルをお使い下さい。異常のあるケーブルの使用は、スピーカーが故障する原因、またはノイズ発生等の原因となる場合があります。

極度に温度の高い場所、低い場所でのご使用はおやめ下さい。引火性のある場所でのご使用はおやめ下さい。

電気器具は必ず子供の手の届かないところに設置して下さい。

雷の場合には、繊細な電気器具の接続を外して下さい。

ケーブルが踏まれないように、または突然引き抜かれないようご注意下さい。

スピーカーの背面には、放熱に十分なスペースを確保して下さい。

オーディオコンポーネントをクリーニングする場合、可燃性の薬品はご使用にならないで下さい。

スピーカーの振動板には手を触れないで下さい。また、スピーカー前面にあるバスレフポートを塞がないで下さい。

スピーカーはコンセントの近くに設置し、電源ケーブルの取り外しを容易に行えるようにして下さい。

ACメイン電源の接続を完全になくすためには、コンセントの接続を外して下さい。

大音量での再生はあなたの聴覚に害を及ぼす可能性があります。大音量での再生の際には、スピーカーに近づき過ぎないようご注意下さい。

A5X アクティブ・マルチメディア／スタジオモニター

ツイーター	XART ツイーター
変換速度	4:1
ダイアフラム等価 ø / 面積	56mm/2420 mm^2
ウーハー	147 mm
ウーハー素材	カーボン/ロハセル/ガラス
内蔵アンプ	2 x 50 W RMS
周波数特性 ±3dB	50 Hz - 50 kHz
THD 90dB/1m >100Hz	≤ 0.6%
最大SPL（Sin波）100 Hz ～ 3 kHz/1m	≥ 102 dB SPL
最大音響出力（ピーク）1 m／ペア	≥ 110 dB SPL
クロスオーバー周波数	2.500 Hz
入力	XLRバランス + RCAアンバランス
入力インピーダンス	10 kΩ
重量	6.6 kg
防磁仕様	yes
高さ x 横幅 x 奥行き	280 x 170 x 220 mm
保証期間	2年間(ユーザー登録で最大5年)